

重要保管

本紙では、お買い求めいただいた製品についての仕様を記載しております。
ご覧いただいた後も大切に保管してください。

本製品をお買い求めのお客様へ

◎型名・型番について

このたびは本製品をお買い求め頂きまして、誠にありがとうございます。
本製品は LS550/FS をベースに企画されたモデルです。
本製品に添付のマニュアル等では型名・型番を下記の通り読み替えてご覧ください。

	マニュアル等での表記	本製品
型 名	LS550/FS6W	LS550/F21BW
	LS550/FS6B	LS550/F21BB
	LS550/FS6R	LS550/F21BR
	LS550/FS6G	LS550/F21BG
型 番	PC-LS550FS6W	PC-LS550F21BW
	PC-LS550FS6B	PC-LS550F21BB
	PC-LS550FS6R	PC-LS550F21BR
	PC-LS550FS6G	PC-LS550F21BG

◎モデル構成表について

このパソコンのモデル構成表は次の通りです。

型名(型番)	表記の区分				
	BD/DVD/CD ドライブ※2	ワイヤレスLAN	TV 機能	OS	添付ソフト
LS550/F21B□ (PC-LS550F21B□) ※1※3	ブルーレイディスク ドライブモデル	高速11n対応ワイヤレス LAN(abgn)モデル	—	Windows 7 Home Premium モデル	Office Home & Business 2010 モデル

※1: 本体の色によって□の中に異なる英数字が入ります。

※2: BD とはブルーレイディスクのことです。

※3: USB 3.0 対応コネクタが搭載されています。

カラー	型名(型番)
エクストラホワイト	LS550/F21BW(PC-LS550F21BW)
スターリーブラック	LS550/F21BB(PC-LS550F21BB)
ルミナスレッド	LS550/F21BR(PC-LS550F21BR)
シャンパンゴールド	LS550/F21BG(PC-LS550F21BG)

◎『添付品を確認してください』について

本製品では、添付品が一部変更されています。

添付のマニュアル『添付品を確認してください』をご覧になる際には、次の添付品に変更がありますので、ご注意ください。

■追加された添付品

- ・ マウス用乾電池(単3形×2本)

◎『ユーザーズマニュアル』について

本製品に添付されているマウスはワイヤレスマウスです。また、マウスの内部に「マウス・リモコン受信用ユニット」が入っています。添付のマニュアル『ユーザーズマニュアル』をご覧になる際は、次の内容を読み替えてご覧ください。

- ・ USB マウス→ワイヤレスマウス
- ・ リモコン受信用ユニット→マウス・リモコン受信用ユニット
- ・ リモコン登録ユーティリティ→マウス・リモコン登録ユーティリティ

以下の内容については、マニュアルの手順を読み替えてご覧ください。

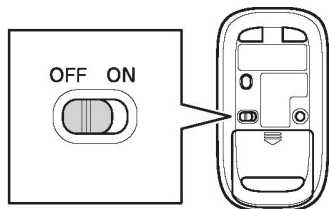
■ 準備・基本編の「第2章セットアップする」-「マウスを使えるようにする」

マニュアルの記載を、次の内容に読み替えてください。

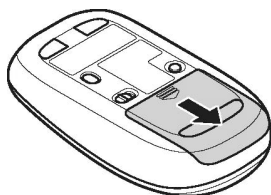
ワイヤレスマウスが添付されているモデルでは、乾電池とマウス・リモコン受信用ユニットをセットしてマウスを使用できます。

1. マウス底面の ON/OFF スイッチを「OFF」にする

マウス底面の ON/OFF スイッチを左にスライドさせ、「OFF」になっているか確認してください。

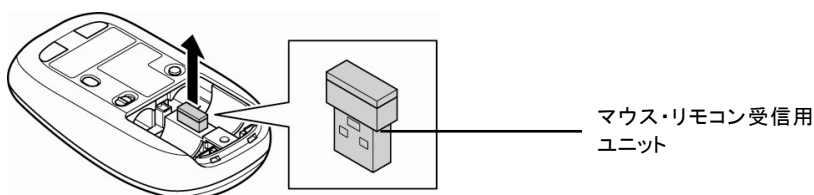


2. 底面のカバーを外す

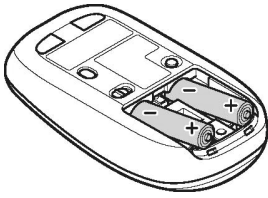


3. マウスの内部からマウス・リモコン受信用ユニットを取り出す

下図を参考に、黒いラベルを持ってマウス・リモコン受信用ユニットを上引き抜いてください。



4. 乾電池を入れる



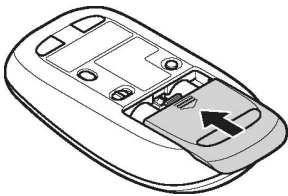
単3形アルカリ乾電池またはニッケル水素充電電池をマウスの内部に向けて押し込み、後方を端子に合わせて入れてください。

! 重要

- 乾電池の+（プラス）と-（マイナス）の向きを、電池ボックス内の表示どおりに入れてください。
- マウスの後方の端子が変形しないように乾電池を入れてください。
- マンガン乾電池、オキシライド乾電池は使用できません。

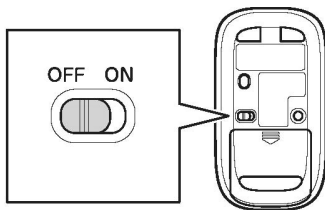
5. カバーをもとどおりはめる

カバーをマウスにはめて、カチッと音がするまで図の矢印の向きにスライドさせてください。



6. マウス底面の ON/OFF スイッチを「ON」にする

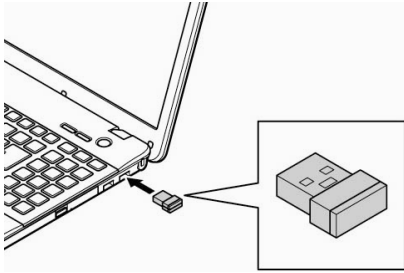
マウス底面の ON/OFF スイッチを右にスライドさせ、「ON」にしてください。



! 重要

- レーザーが出ている穴の部分を見つめると、視力に障害が起こる可能性があるので見つめないように注意してください。
- マウスの電池寿命は、アルカリ電池で使用した場合、約 10 か月です（1 日 8 時間、週 5 日ご使用された場合。なお、ご使用方法、環境条件によって異なる場合があります）。
- マウスを長時間使わないときは、マウス底面の ON/OFF スイッチを「OFF」にしておくと、乾電池が長持ちします。

7. パソコン本体の USB コネクタにマウス・リモコン受信ユニットを取り付ける



！重要

再起動をうながす画面が表示された場合は、「今すぐ再起動」をクリックしてパソコンを再起動してください。

マウスを動かすと、画面の矢印が動きます。

📖 参考

- ・パソコン本体のどの USB コネクタに取り付けてもかまいません。
- ・ USB 3.0 対応コネクタが搭載されているモデルでは、マウス・リモコン受信ユニットを USB 3.0 対応コネクタ(USB-C)に接続した場合は、再セットアップ、Windows 修復機能の利用中にマウスを使用できません。
- ・マウスがうまく動作しないときは、この後の「マウスを登録しなおす」をご覧ください。

！重要

このパソコンにマウスやマウス・リモコン受信ユニットを接続した場合、ご購入時の状態では NX パッドを使用することができません。NX パッドを使用する場合は、NX パッドの設定を変更してください。

🔗 参照

NX パッドの設定について

→「NX パッドの設定を変更する」(「ソフト & サポートナビゲーター」検索番号 93030090 で検索)

■ マウスを登録しなおす

マウスが正しく動作しないときは、何らかの原因でパソコン側の登録が解除されてしまったことが考えられます。次の手順でマウスを登録しなおしてください。

📖 参考

パソコンを修理・交換した場合も、登録しなおす必要があります。

！重要

再登録をおこなう際は、事前にマウスとNXパッドを同時に使用できるよう、マウスの設定を変更する必要があります。必ず、手順 1 から順におこなってください。

1. マウス・リモコン受信ユニットをパソコンから取り外す
2. NX パッドで「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリックする
「マウスのプロパティ」が表示されます。
3. 「USB マウス接続時の動作」タブをクリックする

参考

画面に「USB マウス」と表示されますが、ワイヤレスマウスの設定をおこなう場合もこの操作で問題ありません。

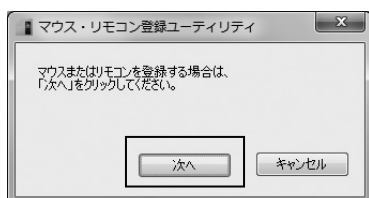
4. 「USB マウスと同時に使用する」の をクリックして にする



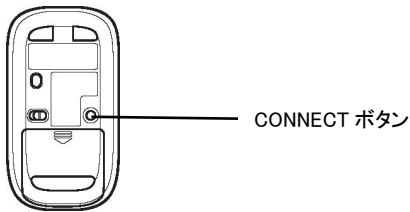
5. 「OK」をクリックする

画面が閉じます。ここからは、再登録をおこないます。

6. マウス・リモコン受信ユニットをパソコンの USB コネクタに取り付ける
7. マウス底面の ON/OFF スイッチを「ON」にする
8. 「スタート」-「すべてのプログラム」-「マウス・リモコン登録ユーティリティ」-「マウス・リモコン登録ユーティリティ」をクリックする
9. 「次へ」をクリックする



10.30 秒以内にマウスの CONNECT ボタンを約 1 秒間押す



11.「OK」をクリックする

マウスを操作して、正常に動作するかを確認してください。



登録できなかった場合は手順 8 からやりなおしてください。

12.手順 4 で変更した設定をもとに戻す場合は、手順2、3をおこなって、表示された画面で「デフォルト」をクリックする

「自動的に Pad 操作面を無効にする」が選択されます。

13.「OK」をクリックする

画面が閉じます。

■ トラブル予防・解決編の「第 3 章」-「トラブル解決 Q&A」-「マウス、キーボード、NX パッド (LaVie のみ) がおかしいとき」

「Q: マウス、NX パッド (LaVie のみ) を動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い」の対処方法について、次のように読み替えてください。

変更前の Q&A

- マウスを USB 3.0 対応コネクタに接続していませんか？ (USB 3.0 対応コネクタが搭載されたモデルのみ)

変更後の Q&A

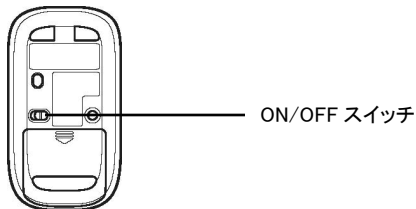
- マウス・リモコン受信ユニットまたは USB マウスを USB 3.0 対応コネクタに接続していませんか？ (USB 3.0 対応コネクタが搭載されたモデルのみ)
- A: 再セットアップ時など、Windows が起動していない場合は、USB 3.0 対応コネクタ (SS-C または SS-C⁺) は利用できません。マウス・リモコン受信ユニットまたは USB マウスは USB 2.0 対応コネクタ (C または C⁺) に接続しなおしてください。コネクタの位置などについて詳しくは、『ユーザーズマニュアル』の「各部の名称」をご覧ください。

変更前の Q&A

- キーボード電源またはマウスのスイッチが OFF になっていませんか？

変更後の Q&A

マニュアル中のワイヤレスマウスのイラストを次のものに読み替えてください。



変更前の Q&A

- USB マウスを接続していませんか？

変更後の Q&A

- ワイヤレスマウス(または市販の USB マウス)を使っていますか？

A: ご購入時の状態では、接続するとNXパッドの機能が無効になるように設定されています。ワイヤレスマウスをオフにする、または市販の USB マウスを外すか、次の手順で NX パッドを有効にする設定を変更して、NX パッドの操作ができるようにしてください。

1. 「スタート」-「コントロールパネル」-「ハードウェアとサウンド」-「マウス」をクリック

「マウスのプロパティ」が表示されます。

2. 「USB マウス接続時の動作」タブをクリック

3. 「OK」をクリック

NX パッドが有効になります。



また、「Q: マウス、NXパッド(LaVieのみ)を動かしても、キーボードのキーを押しても反応しない、反応が悪い」の対処方法について、次の項目を追加してお読みください。



- マウス・リモコン受信用ユニットは取り付けられていますか？





A: マウス・リモコン受信用ユニットがパソコンに取り付けられていないと、ワイヤレスマウスでの操作はできません。本紙の「マウスを使えるようにする」をご覧ください。マウス・リモコン受信用ユニットを取り付けてください。

- マウス・リモコン受信用ユニットを取り付けなおしてください

A: 一度、マウス・リモコン受信用ユニットを取り外して、取り付け直すと解決する場合があります。

- マウス・リモコン受信用ユニットを USB 2.0 対応コネクタ( または ) に接続してください

A: マウス・リモコン受信用ユニットは、隣接している USB 3.0 対応コネクタ( または ) にも取り付け可能ですが、隣接している USB 3.0 対応コネクタに USB 3.0 対応機器が接続された場合に、USB 3.0 対応機器が発するノイズをマウス・リモコン受信用ユニットが受け、誤動作を起こす場合がありますのでご注意ください。

この場合には、マウス・リモコン受信用ユニットを USB 3.0 対応コネクタ( または ) から離れた、USB 2.0 対応コネクタ( または ) に接続してご使用ください。

◎「ソフト&サポートナビゲーター」について

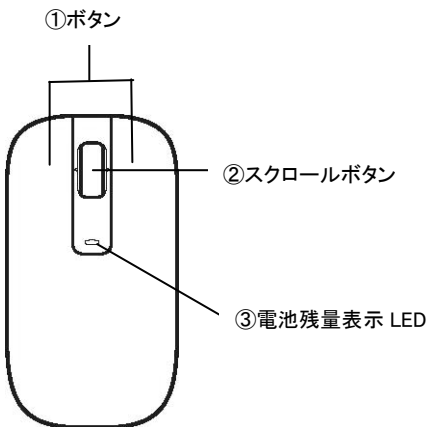
本製品に添付されているマウスはワイヤレスマウスです。また、マウスの内部に「マウス・リモコン受信用ユニット」が入っています。画面で見るマニュアル「ソフト&サポートナビゲーター」をご覧になる際は、次の内容を読み替えてご覧ください。

- ・ USB マウス→ワイヤレスマウス
- ・ リモコン受信用ユニット→マウス・リモコン受信用ユニット

- 「ソフト&サポートナビゲーター」の「機能を知る」-「マウスとスライドパッド」-「マウスについて」
次の内容については、表示される内容を読み替えてご覧ください。

●名称と役割(マウスが添付されているモデルのみ)

マウスのイラストを次のものに読み替えてください。また、電池残量表示 LED については、次の説明をご覧ください。



③	電池残量表示 LED	ワイヤレスマウスの電池残量が少なくなると点滅します。電池の交換をおすすめします。 点滅の間隔が短くなると電池残量はごくわずかのため、必ず交換してください。
---	------------	--

- 「ソフト&サポートナビゲーター」の「機能を知る」-「マウスとスライドパッド」-「マウスを接続するための設定」-「添付のマウスを使う場合」



本製品に添付されているマウスはワイヤレスマウスです。本製品に添付されているワイヤレスマウスを使う場合は、設定をおこなう必要はありません。マウス・リモコン受信用ユニットを USB コネクタに接続してください。マウスの再登録については、本紙の「マウスを登録しなおす」をご覧ください。

- 「ソフト&サポートナビゲーター」の「機能を知る」-「マウスとスライドパッド」-「マウスのスクロールボタンを使う」

次の内容を追加してご覧ください。

●ブラウザの「戻る」「進む」として操作する

設定を変更することで、ブラウザの「戻る」「進む」の操作として使用することもできます。スクロールボタンを左に傾けるとブラウザの「戻る」の操作となり、右に傾けると「進む」の操作となります。

設定は、画面右下の通知領域にある  をクリックして表示される  をクリックまたは右クリックして表示されるメニューから「戻る/進む」をクリックして変更します。

◎おすすめ機能について

添付のマニュアル『ユーザーズマニュアル』の「準備・基本編」第 6 章の「複数のパソコンを使う」の内容について、次の項目を追加してご覧ください。

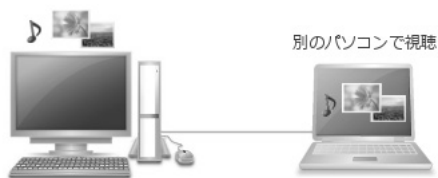
機能	使用するソフト	機能の説明
写真、映像、音楽コンテンツをやりとりする	「ホームネットワークサーバー powered by DiXiM」 「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	DLNA に対応したほかのパソコンとの間で写真、映像、音楽コンテンツなどを相互に視聴することができます。
テレビ番組をやりとりする	「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」	ほかのパソコンやハードディスクレコーダー※1 で録画したデジタル放送の番組を視聴することができます。

※1: 配信機能がある DTCP-IP 対応機器。

◎ホームネットワークについて

画面で見るマニュアル「ソフト & サポートナビゲーター」-「安心・快適に使う」-「複数のパソコンや AV 機器を使いこなすためのポイント」-「ファイル共有と相互利用(ホームネットワークなど)」の内容について、次の項目を追加してご覧ください。

■ホームネットワークで『写真、映像、音楽コンテンツ』を楽しむ



このパソコンは DLNA に対応しています。DLNA に対応しているパソコンや AV 機器とつなげると、写真、映像、音楽コンテンツを別のパソコンや AV 機器で視聴したり配信したりできます。

利用するソフト	ホームネットワークサーバー powered by DiXiM
	ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM

参考

DLNA とは？

- DLNA (Digital Living Network Alliance) とは、ご家庭内のパソコンや AV 機器などをつないで、写真・映像・音楽コンテンツを複数の機器で共有するためのガイドラインです。ホームネットワークを使って DLNA に対応した機器をつなぐと、それぞれの機器に保存されている写真・映像・音楽コンテンツを、ネットワークを通じて別の機器でも楽しむことができます。
- 2006 年 4 月以降に発表された NEC 製パソコン (VALUESTAR、LaVie) は DLNA に準拠していません。2005 年 9 月から 2006 年 4 月以前に発表された製品であれば、<http://121ware.com/> から「MediaGarage」のアップデートモジュール(ドライバやソフトなどの更新プログラム)を入手し、適用すれば DLNA に対応します。このマニュアルでは、DLNA に対応したパソコンや AV 機器を「DLNA 製品」と表記しています。
- コンテンツの種類や機器によっては、一部の機能が使えません。
- 視聴、配信できるコンテンツについて詳しくは、<http://121ware.com/catalog/dlna/> をご覧ください。

■ホームネットワークを作る

「スタート」-「コントロール パネル」-「ネットワークとインターネット」-「ネットワークと共有センター」をクリックして、「アクティブなネットワークの表示」欄で「パブリック ネットワーク」が選択されているときは、ネットワーク名をクリックして表示される画面でネットワークの場所の設定を「ホーム ネットワーク」か「社内ネットワーク」にしてください。

ホームネットワークは、機器を LAN ケーブルで接続する方法とワイヤレス LAN で接続する方法の 2 つがあります。

LAN ケーブルで接続する方法とワイヤレス LAN で接続する方法については、「ソフト&サポートナビゲーター」-「機能を知る」-「ネットワーク(有線・無線)」をご覧ください。

●DLNA の設定をする

ここでは、このパソコンのコンテンツをほかの DLNA 製品から利用できるように、コンテンツを公開する方法について説明します。

1. 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」をクリックして起動し、「ホームネットワーク」の「画像」をクリックする

「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」が起動します。

2. 画面左のをクリックする

3. 「設定」をクリックする

4. 画面左のメニューから「サーバー設定」をクリックする

5. 「アクセス権の設定」をクリックする

画面下にクライアントの一覧が表示されます。

6. アクセスを許可するクライアントを選択する

アクセス拒否されている(⊘が表示されている)クライアントをクリックすると、アクセスが許可されます。逆に、アクセス許可したクライアントをクリックすると、アクセス拒否になります。



参考

- ご購入時の状態では「パブリックのミュージック」、「パブリックのピクチャ」、「パブリックのビデオ」、「Uploaded Files」(「パブリック」フォルダ内)の 4 つのフォルダが公開されます。
- 公開フォルダなどの設定はサーバー設定ツールでおこないます。手順 6 の画面で「サーバー設定」-「サーバー設定ツールを起動する」をクリックするとサーバー設定ツールが起動します。

参考

AVCHD の映像の公開

- ・「Corel Digital Studio for NEC」で作成した AVCHD の映像をホームネットワークに公開するには、「Corel Digital Studio for NEC」のビデオディスクの作成で「プロジェクト形式」を「AVCHD」にし、メニュー編集の設定で「ビデオフォルダを作成」にチェックを入れて書き込みを実行し、ここで選択したフォルダを公開してください。
- ・「Corel Digital Studio for NEC」で取り込んだ AVCHD の映像をそのまま楽しむには、各ユーザーの「ライブラリ」-「ビデオ」の中にある取り込んだフォルダを公開してください（「ライブラリ」-「ビデオ」はご購入時の保存先です。保存先は任意に変更できます）。
- ・「Corel Digital Studio for NEC」の使い方について詳しくは、「Corel Digital Studio for NEC」の「ユーザーガイド」をご覧ください。

■ホームネットワークで『写真、映像、音楽コンテンツ』を楽しむ方法

●コンテンツを視聴する

ここでは、アーティスト名を手がかりにして音楽を聴く手順を例に、このパソコンでほかの DLNA 製品のコンテンツを視聴する操作について説明します。

重要

あらかじめ、DLNA 製品でコンテンツを配信するための設定をおこなってください。設定方法については各製品のマニュアルをご覧ください。

1. 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」をクリックして起動し、「ホームネットワーク」-「音楽」をクリックする
「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」が起動します。
2. 「アーティスト」をクリックして、表示されたアーティストの一覧から再生したい曲のアーティストをクリックする
ホームネットワークに公開された曲のうち、アーティストの曲の一覧が表示されます。
3. 一覧から再生したい曲を選んでクリックする
曲の再生が始まります。


参考

検索

検索するときは、「検索」の下にある入力欄にキーワードを入力してください。最初の文字を入力すると検索が始まります。

参考

映像の視聴

- ・ホームネットワークに公開された画像やビデオ（動画）を視聴するときは、画面左のをクリックして表示されるメニューで、画像やビデオをクリックしてください。
- ・「Corel Digital Studio for NEC」を使って作成したメニュー画面がビデオ一覧に表示される場合がありますが、メニューを操作することはできません。

●コンテンツをダウンロード／アップロードする

ほかの機器のコンテンツを本機にダウンロードすると、コンテンツが本機の中に保存されるので、ネットワークに接続しなくても編集したり DVD などへ書き出したりできます。

本機で公開しているコンテンツをほかの機器にアップロードすると、サーバに保存され、ホームネットワークで公開できます。

ここでは曲をダウンロードする手順を例に説明します。

1. 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」をクリックして起動し、「ホームネットワーク」-「音楽」をクリックする

「ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM」が起動します。

2. 「転送」をクリックして、「ダウンロード可能」をクリックする

ダウンロードできる曲の一覧が表示されます。

3. ダウンロードする曲を右クリックし、表示されるメニューから「ダウンロード」をクリックして「1 件のみ」か「複数選択」を選択する

4. 「コピー」または「ムーブ」を選択する

ダウンロードが開始されます。ダウンロードしたコンテンツは、コンテンツの種類に応じてユーザーの「ピクチャ」、「ミュージック」、「ビデオ」のフォルダにそれぞれ保存されます。

参考

- ・ ダウンロード、アップロードは対応している DLNA 製品間でのみ利用できます。
- ・ コンテンツによっては、アップロードできない場合があります。
- ・ 「ムーブ」は対応している機器以外では表示されません。「ムーブ」を選択すると、ダウンロード元のコンテンツは削除されます。
- ・ コンテンツをアップロードする場合は、手順 2 で「アップロード可能」を選択し、手順 3 で「アップロード」を選択します。サーバの一覧が表示されますので、アップロード先のサーバを選択して、「アップロード」をクリックするとアップロードが始まります。
- ・ アップロードされたコンテンツは、種類ごとに次のフォルダへ保存されます。

コンテンツの種類	保存フォルダ	場所
画像	パブリックのピクチャ	C:\Users\¥Public¥Pictures
音楽	パブリックのミュージック	C:\Users\¥Public¥Music
ビデオ	パブリックのビデオ	C:\Users\¥Public¥Videos

- ・ アップロードされたコンテンツを編集する場合は、Corel Digital Studio for NEC を起動して、フォルダーからの取り込み方法でコンテンツを取り込んでください。フォルダーからの取り込み方法について詳しくは「Corel Digital Studio for NEC」の「ユーザーガイド」をご覧ください。
- ・ ダウンロードまたはアップロードされたコンテンツの種類によっては、Corel Digital Studio for NEC では編集できません。Corel Digital Studio for NEC で編集できるコンテンツについて詳しくは「Corel Digital Studio for NEC」の「ユーザーガイド」をご覧ください。

■ホームネットワークで『テレビ番組』を楽しむ



DTCP-IP 規格を使って、ほかの機器で録画した番組を、このパソコンで見ることができます。

利用するソフト	ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM
---------	---------------------------------

📖 参考

DTCP-IP とは？

デジタル放送など、著作権で保護されているコンテンツを、家庭内のネットワークを使って伝送するための技術規格です(著作権保護技術「DTCP(Digital Transmission Content Protection)」を IP ネットワークに適用したもの)。コンテンツを暗号化したり、インターネットなどの外部のネットワークへ流出することを防いだりします。

■ホームネットワークで『テレビ番組』を楽しむ方法

! 重要

- ・ ネットワークの実効速度が 50Mbps を下回ると、映像が乱れたり(コマ落ちしたり)、音声途切れることがあります。特に、ワイヤレス LAN(無線 LAN)をお使いの場合はご注意ください。
- ・ あらかじめ、DTCP-IP 対応製品で録画番組を配信するための設定をおこなってください。設定方法については各製品のマニュアルをご覧ください。
- ・ 視聴できるデジタル録画番組は、デジタル放送の標準フォーマットである MPEG2-TS で録画した番組、または長時間録画などに用いられる MPEG4-AVC/H.264 で録画されたコンテンツです。

●録画番組を視聴する

! 重要

デジタル録画番組を視聴する場合、初回再生時に自動的にライセンス取得をおこないます。ライセンス取得の際は、インターネット接続が必要です。パソコンを再セットアップしたときなどはライセンスを取得しなおす必要があります。

1. 「スタート」-「すべてのプログラム」-「Windows Media Center」をクリックして起動し、「ホームネットワーク」の「デジタル録画番組」をクリックする
配信されている録画番組の一覧が表示されます。
2. 視聴したい録画番組をクリックする
再生が始まります。再生中は、画面右下に表示される再生コントローラーで停止・スキップ・一時停止などの操作ができます。

参考

- ・ デジタル録画番組を視聴するときは、ほかのソフトを終了させて、フルスクリーンで視聴することをおすすめします。ほかのソフトのウィンドウが表示されていると映像が乱れたり(コマ落ちしたり)、音声が入切れることがあります。
- ・ デジタル録画番組の内容や、視聴中に再生コントローラーやサブメニューを表示すると、映像が乱れたり(コマ落ちしたり)、音声が入切れることがあります。
- ・ コンテンツの種類や、コンテンツが保存されている DTCP-IP 対応製品によっては、再生できなかったり、早送りや早戻し、スキップなどの操作ができないことがあります。

参考

SmartVision の録画番組

2009 年夏以降に発表されたモデルで SmartVision をお使いの場合、録画中でも、2 分間以上録画されている番組は視聴できます(ワイヤレス TV デジタル添付モデルを除く)。ただし、さかのぼり録画で録画している番組は録画が完了するまで視聴できません。

◎Windows Media Center について

画面で見るマニュアル「ソフト & サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50 音 / 英数字から選ぶ」-「Windows Media Center」の内容について、次の項目を追加してご覧ください。

■Windows Media Center の主な機能

・ホームネットワーク

LAN で接続されているネットワーク上の機器に保存しているコンテンツ(画像・音楽・ビデオ・デジタル録画番組)を視聴することができます。

参照

「ホームネットワーク」について

「ソフト & サポートナビゲーター」-「安心・快適に使う」-「複数のパソコンや AV 機器を使いこなすためのポイント」-「ファイル共有と相互利用(ホームネットワークなど)」(本紙の「◎ホームネットワークについて」)

■注意事項

- ・「ホームネットワーク」の「デジタル録画番組」でデジタル放送の録画番組を視聴する際は、はじめて再生するときにライセンスを取得する必要があります。ライセンスを取得するには、インターネット接続環境が必要です。
- ・ホームネットワーク機能でネットワーク上の機器のコンテンツを視聴するには、あらかじめホームネットワークを作成し、ネットワーク上の機器でコンテンツを公開しておく必要があります。公開方法については、ネットワーク上の機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・このパソコンに保存しているコンテンツをネットワーク上の機器から視聴するには、あらかじめホームネットワークでコンテンツを公開しておく必要があります。詳しくは「ソフト & サポートナビゲーター」-「安心・快適に使う」-「複数のパソコンや AV 機器を使いこなすためのポイント」-「ファイル共有と相互利用(ホームネットワークなど)」(本紙の「◎ホームネットワークについて」)をご覧ください。
- ・ネットワーク上の機器に保存しているデジタル放送の録画番組を視聴するには、ネットワーク上の機器でもライセンスを取得しておく必要がある場合があります。お使いの機器の設定方法については機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・ホームネットワーク機能のみを追加したり削除したりできます。
- ・DTCP-IP 対応機器で録画した番組を視聴できない場合がありますので、ご了承ください。

- ・ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM のウィンドウをアクティブ(選択されている状態)にするとディスプレイの明るさが変わる場合、「彩りの設定」で設定したホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM 用のディスプレイの明るさが有効になっている可能性があります。明るさの設定については「彩りの設定」をご確認ください。
- ・「ホームネットワーク」の項目は、ホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM を追加すると表示され、削除すると表示されなくなります。
プログラムがお使いのパソコンに搭載されているかどうかについては、「ソフト&サポートナビゲーター」-「ソフトを探す」-「50 音/英数字から選ぶ」でご確認ください。
- ・解像度、表示色、または画面の出力先の変更をおこなう場合は、いったんホームネットワークプレーヤー powered by DiXiM を終了してから変更をおこなってください。

◎本体仕様一覧について

下記のホームページに記載された仕様一覧を、次のように読み替えてご覧ください。

http://121ware.com/e-manual/m/nx/ac/201109/bios-siyou/v1/mst/1109siyou_LVS.pdf



「仕様一覧について」(「ソフト&サポートナビゲーター」検索番号 93230010 で検索)

なお、仕様一覧については、型名・型番を下記の通り読み替えてご覧ください。

	ホームページでの表記	本製品
型名	LS550/F26W	LS550/F21BW
	LS550/F26B	LS550/F21BB
	LS550/F26R	LS550/F21BR
	LS550/F26G	LS550/F21BG
型番	PC-LS550F26W	PC-LS550F21BW
	PC-LS550F26B	PC-LS550F21BB
	PC-LS550F26R	PC-LS550F21BR
	PC-LS550F26G	PC-LS550F21BG

	ホームページでの記載	本製品	
メインメモリ	標準容量/最大容量	4GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×1、PC3-10600対応、デュアルチャネル対応可能)/8GB	8GB(DDR3 SDRAM/SO-DIMM 4GB×2、PC3-10600 対応、デュアルチャネル対応)/8GB
	スロット数	SO-DIMM スロット×2[空き:1]	SO-DIMM スロット×2[空き:0]
通信機能	ワイヤレス LAN	高速 11n 対応ワイヤレス LAN 本体内蔵 (IEEE802.11b/g/n 準拠)、インテル® My WiFi テクノロジー対応、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応	高速 11n 対応ワイヤレス LAN 本体内蔵 (IEEE802.11a/b/g/n 準拠)、インテル® My WiFi テクノロジー対応、インテル® ワイヤレス・ディスプレイ対応
バッテリー駆動時間	標準バッテリー装着時	約 2.8 時間(リチウム)	約 2.7 時間(リチウム)
消費電力	標準/最大/スリープ状態時	約 15W/約 75W/約 0.5W	約 16W/約 75W/約 0.6W

液晶ディスプレイについて (液晶ディスプレイが搭載、または添付されているモデルのみ)

画面の一部にドット抜け※¹(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)や、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、**液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。**

※1: 一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインによるドット抜けの割合については、添付マニュアルの「仕様一覧」をご覧のうえ、弊社 WEB サイトにてご確認ください。ガイドラインの詳細については、以下の WEB サイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
<http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html>

パソコンに電源を入れるときのご注意

◎パソコンのセットアップ中は電源を切らない

初めてパソコンに電源を入れたときにはじまる**パソコンのセットアップ中は、決して電源を切らない**でください(再セットアップも同様です)。セットアップは必ず添付のマニュアルをご覧の上、記載通りに実施してください。操作方法を誤ると、正常にセットアップが完了しないだけでなく、故障につながる可能性があります。



※お使いのパソコンにより、どちらかのマニュアルが添付されています。また、表紙デザインは多少異なることがあります。

◎パソコンの状態が安定してから操作する

電源を入れたり、再起動した直後は、デスクトップ画面表示後も、**内蔵ドライブアクセスランプが点滅しなくなるまで何もせずお待ちください**※²。

パソコンの状態が安定するまでには1分～2分程度かかります。

※2: 内蔵ドライブアクセスランプ点滅中は Windows が起動中です。無理に電源を切ったり、ソフトを起動したりすると、動作が不安定になったり、処理の重複で予期せぬエラーがでることがあります。

電源を切るときはマニュアルをご覧の上、「スタート」メニューから切ってください。

再セットアップディスクの作成について

ご購入時の状態に戻すなど、もしもの場合に備え、ご購入後なるべく早く**再セットアップディスクを作成することをお勧めします**(作成には市販の DVD-R などのメディア、さらにモデルによっては別売の DVD スーパーマルチドライブ(PC-AC-DU006C)などが必要です)。再セットアップディスクは販売もしています。

参照

再セットアップの詳細については、マニュアル『**ユーザーズマニュアル**』の再セットアップに関する項目をご覧ください。